



パネルセッション：

金融分野の共助をどう作り、 続けてきたか

一般社団法人 金融ISAC

<<https://www.f-isac.jp/>>

配布版

金融ISAC (Information Sharing and Analysis Center)

- 金融業界のサイバーセキュリティ分野における**共助**を実現するためのコミュニティ

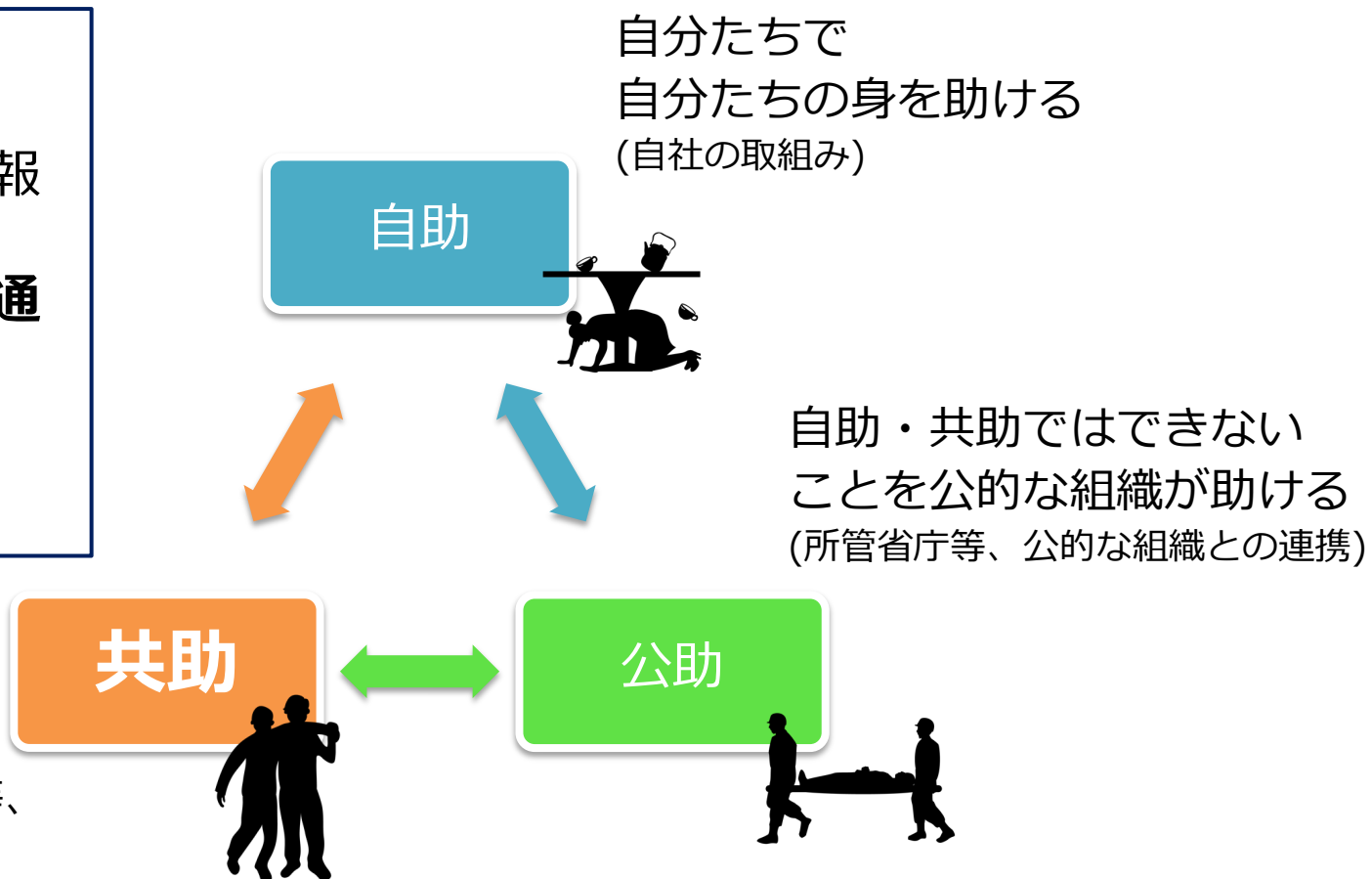
金融業界全体での共同防衛

- ✓ 最新の脅威や取り組み事例に関する情報を共有し、**共通の敵**に立ち向かう
- ✓ 互いにリソースを共有して、**各社の共通課題**の解決に取り組む
- ✓ 自助の遂行や公助の活用が難しい組織(中小金融機関等)を**支援**する など



Fast, Frank, and Friendly
Financials ISAC Japan

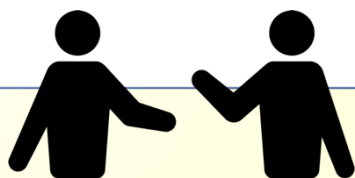
共に助け合う
(**金融ISAC**、NCA等、
相互扶助の枠組み)



ISAC活動の柱

コレクティブインテリジェンス

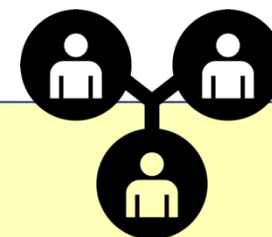
<情報> の共有



ISAC活動の柱

リソースシェアリング

<リソース> の共有



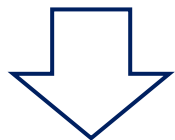
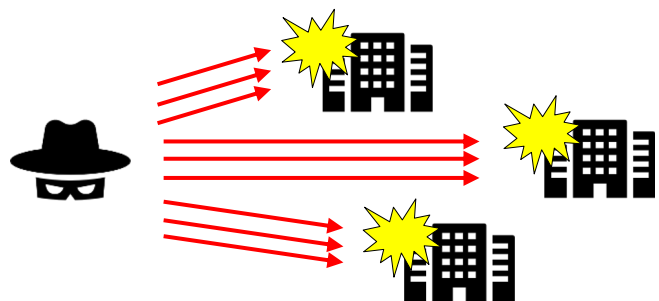
- ✓ カンファレンス
- ✓ SIGNAL (ポータル) ・ WGでの情報共有 など

- ✓ 成果物の共同開発
- ✓ イベント・勉強会の開催
- ✓ 共同演習の実施 など

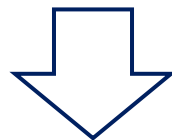
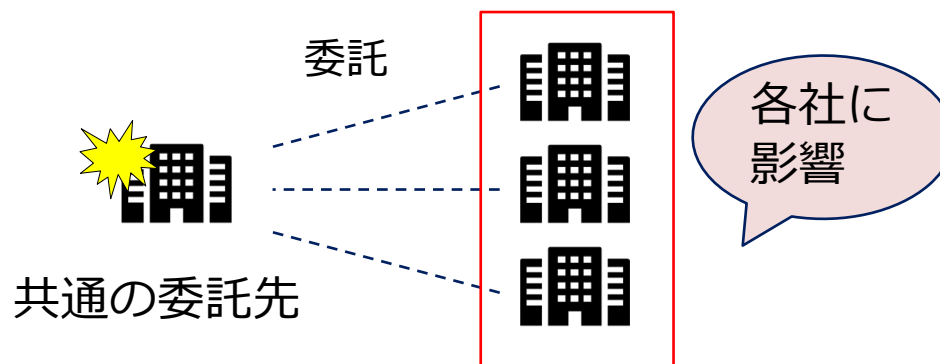
… 原則、会員のボランティア (共助) をベースに活動

インシデント関連の情報共有事例

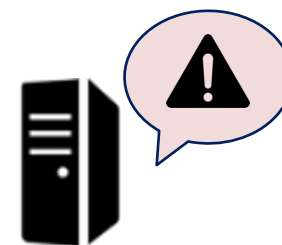
金融機関に対する 同時多発的なDDoS攻撃



サードパーティ関連 インシデント



緊急性の高い 深刻な脆弱性の公表



会員間のタイムリーな情報共有、緊急ミーティングの開催 など

共通課題解決に向けたリソース共有

ワーキンググループ

・WG・コミュニティ活動：会合、情報交換、成果物作成

※ 2026年9月末時点

リソースが
足りない

1人CSIRT…



各社同じ
悩み・課題



みんなで一緒に
やればいいのでは…

インシデント対応
WG

共同演習
WG

不正送金対策
WG

グローバル
情報連携
WG

スキルアップ
WG

インテリジェンス
WG

ベスト
プラクティス
WG

脆弱性対応
WG

FinTech
セキュリティ
WG

AKC WG

(地域金融機関の支援企画)

セキュリティ
オペレーション
高度化WG

Next Generation
WG

(各社若手層のコミュニティ)

内部監査
WG

TPRM WG

3rd Party Risk Management

AIセキュリティ
WG

業態別
コミュニティ/
TF (Task Force)

主な成果物・イベント

・ 成果物 & 勉強会

[マニュアル・ガイド関連]

- ✓ **インシデント対応**マニュアル
- ✓ **脆弱性対応**マニュアル
- ✓ **サイバー攻撃対策**
ベストプラクティスガイド
- ✓ **不正送金対策**グッドプラクティス
ガイド
- ✓ サイバーセキュリティ **監査**ガイド
- ✓ 金融機関向け**PQC**移行ガイド など

[教材・人材育成関連]

- ✓ サイバーセキュリティ **基礎の基礎**
- ✓ インシデント**初動調査**入門
- ✓ スキルマップ／チェックシート など

・ 演習



組織参加型の共同机上演習
(毎年8月、1日)

シナリオ選択式の机上演習と
他社を交えた振り返り



個人参加型の共同実機演習
(毎年2月、1泊2日)

架空の金融機関の一員として
発生事象にリアルタイムで対応

近年の共通課題

金融庁ガイドライン対応



『金融分野におけるサイバーセキュリティに関するガイドライン』に記載された取組事項に関する対応を推進

サードパーティリスク管理



サードパーティ・サプライチェーン関連のインシデント増加、および金融庁ガイドライン対応の一環として管理強化を推進

PQC対応



量子計算機の実用化による既存暗号方式の危殆化を念頭に、2030年代の早い段階の移行完了を目指して対応を推進

(フロンティア) AI対応



フロンティアAIによる脅威変化を踏まえた対応を推進：大量の脆弱性の公開、攻撃者によるAIの悪用、AIを活用した対策 等

金融ISACの沿革

[課題]

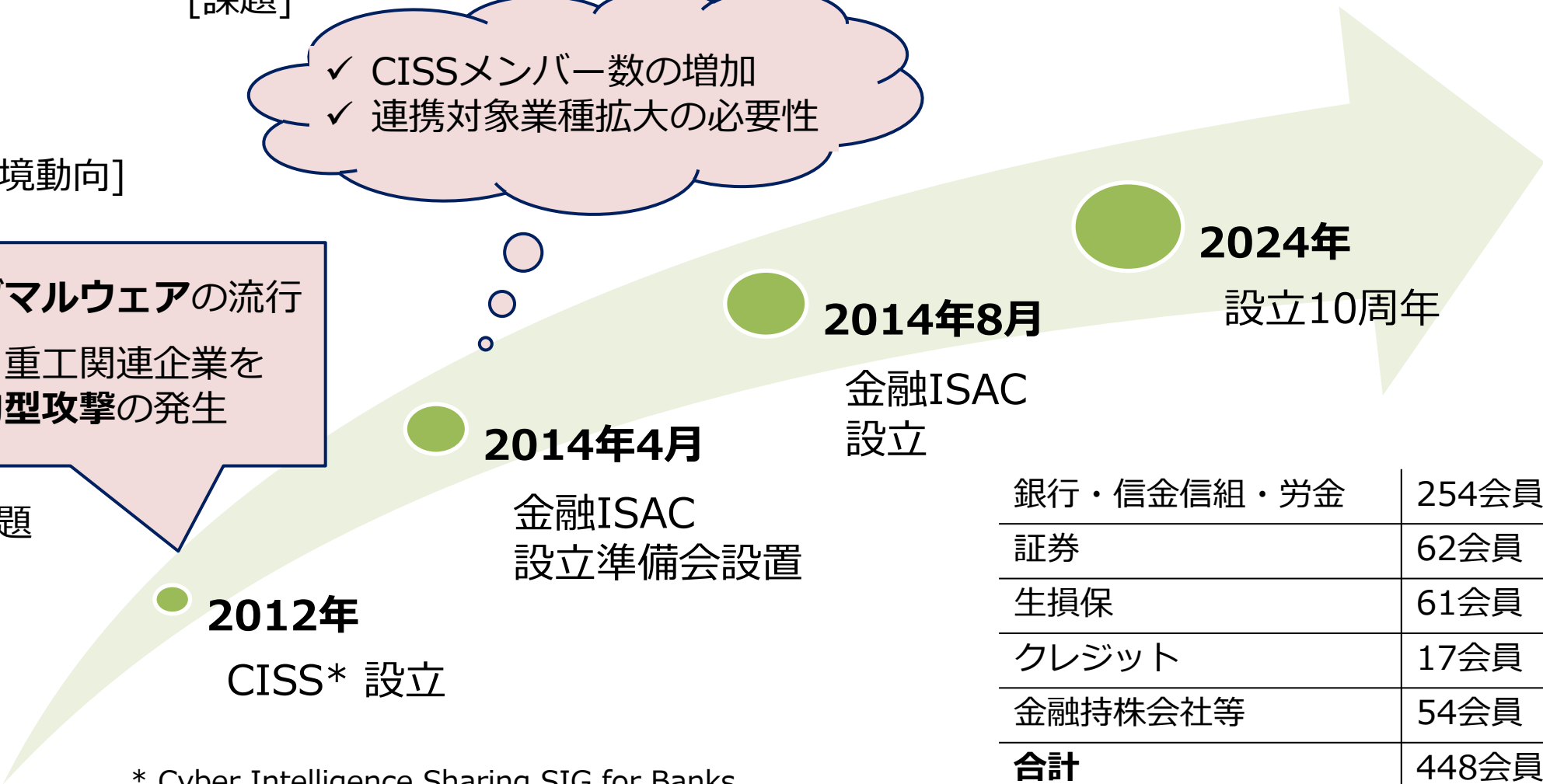
- ✓ CISSメンバー数の増加
- ✓ 連携対象業種拡大の必要性

[2012年当時の環境動向]

**バンキングマルウェア**の流行

国内防衛・重工関連企業を狙った**標的型攻撃**の発生

= 当時の共通課題



* Cyber Intelligence Sharing SIG for Banks
国内金融機関7社の有志の情報連絡会

銀行・信金信組・労金	254会員
証券	62会員
生損保	61会員
クレジット	17会員
金融持株会社等	54会員
合計	448会員

※ 2026年6月末時点

10年経って出てきた課題・問題

コアメンバーの固定化

活動を牽引するのは一部のメンバーで、その他の多くのメンバーは"**受け手**"に徹している (ROM専多すぎ問題)



初期メンバーの離脱

活動を牽引してきたメンバーが退職・転職・異動等でいなくなり、**次世代への新陳代謝**が強制的に発生 (継承問題)



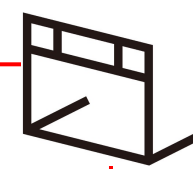
匿名活動メンバーの増加

匿名の情報投稿が増加し、情報の信頼性の低下 & 治安の悪化 & その後の共助の機会損失に繋がる (匿名掲示板と勘違い問題)

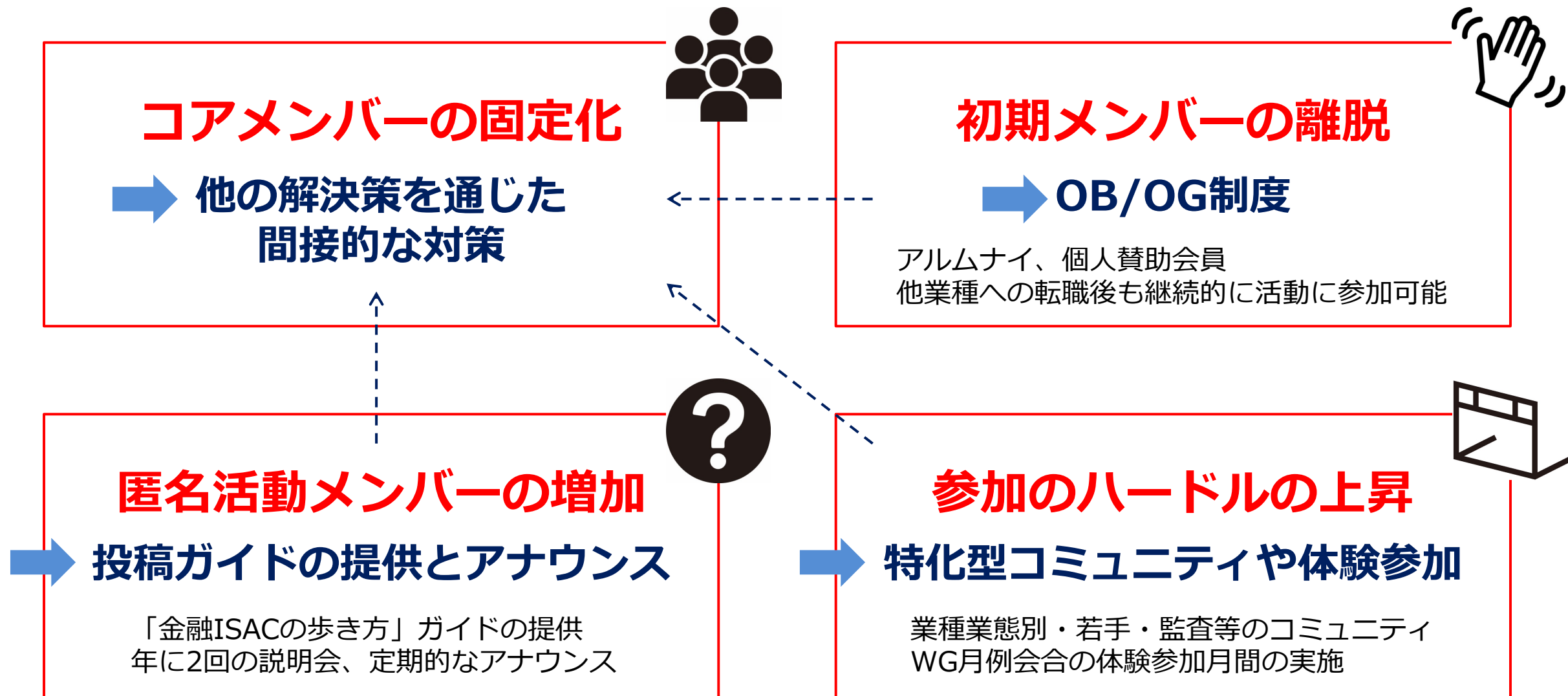


参加のハードルの上昇

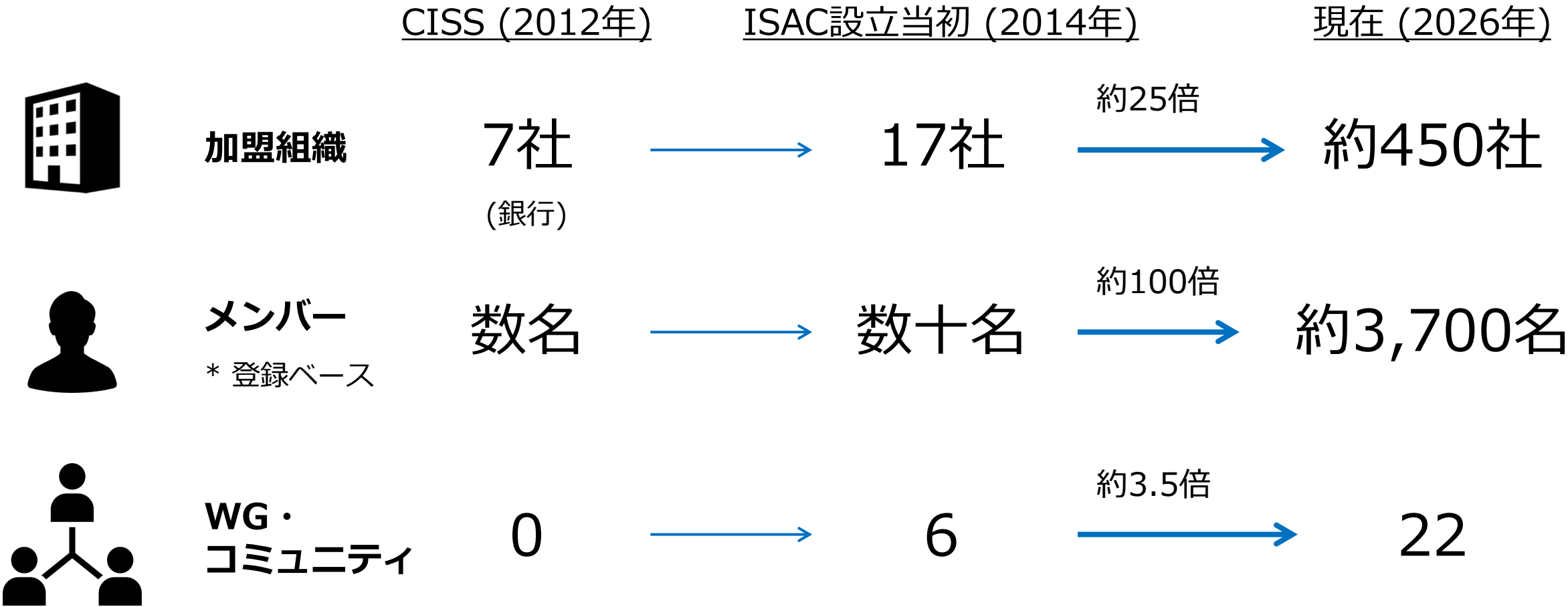
成熟したコミュニティに新規メンバーが参加しづらい、**会社環境等の変化**で活動に参加しづらくなる (参加しづらい問題)



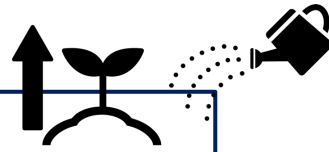
事務局としての解決策



10年の変化



取り組んできたこと



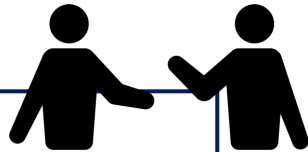
小さく始めて大きく育てる

最初から欲張らず**できることから始める** /
人・モノ・金がなくてもできることは、
意外とたくさんある



コアメンバーとサクラ

活動を**牽引**するメンバーと、それを**盛り上げる**役をコミュニティ内に配置する /
ファーストペンギンを生み出す土壌を作る



顔の見える信頼関係の醸成

お互いに誰だか分からない人・組織に
情報やリソースは提供しづらい /
対面での活動機会をできるだけ設ける



共助に関する目線合わせ

参加者間の**共通課題**を洗い出し、自助だけ
でなく共助を活用することを検討する /
自助あつての共助、共助あつての自助

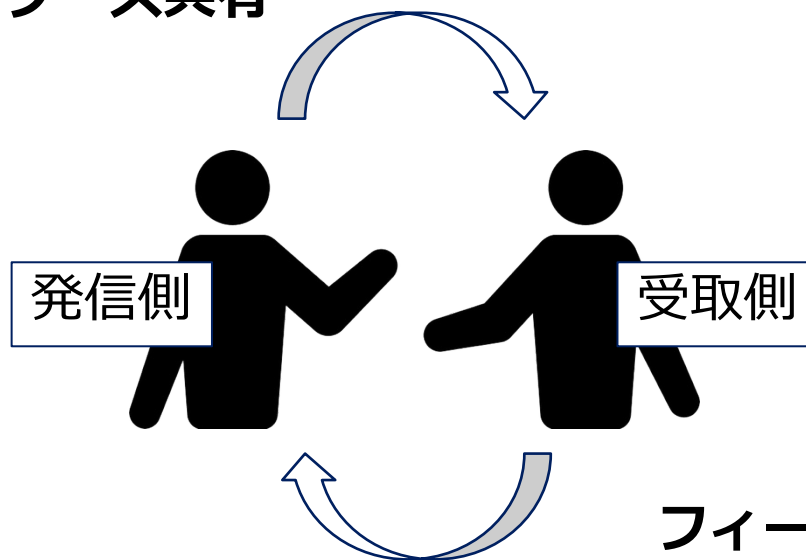
あるべき共助の姿

・インプットとアウトプットのループ

[発信側の主なメリット]

- ・ 受取側から直接**フィードバック**が得られる
- ・ 積極的に情報発信する人に、**情報**が集まりやすくなる
- ・ 結果的に：**知識・スキル・モチベーション・レピュテーション**が得られる

情報共有／
リソース共有



[受取側の主なメリット]

- ・ 他組織の対応状況や取組事例などが把握できる
- ・ 脅威を早期検知・未然防止できる
- ・ 他組織の**知見**を活用できる

対等な立場での双方向のコミュニケーション

むすびにかえて

- 金融ISACが大事にすること／目指すこと



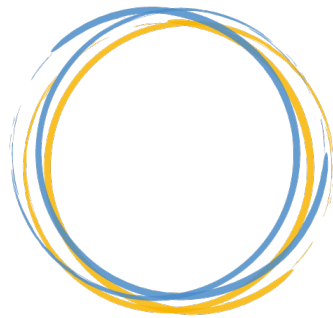
Fast, Frank, and Friendly
Financials ISAC Japan

- **Fast** ... タイムリーに
- **Frank** ... 率直かつオープンに
- **Friendly** ... フレンドリーに

『**お互いに顔の見える信頼関係**』にもとづく**共助**
対等な立場での双方向のコミュニケーション



金融サービス利用者の**安心・安全**を継続的に確保



Fast, Frank, and Friendly
Financials ISAC Japan